

令和7年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立美木原小学校 校長 石本 美喜

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

ともに学び合い、未来を創る子供の育成

スクールミッション

小中連携教育を基盤とした確かな学力の育成

目指す児童生徒像

- ◆自分や友達を大切にし、思いやりをもって人とのかかわる子供【感謝】
- ◆自分の考えを自分の言葉で表現する子供【自立】
- ◆目標に向かって根気強くやりぬく子供【挑戦】

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

読解力を高める授業づくり
～「言葉」を手がかりにした「伝え合う」授業を通して～

(2) 研究主題の設定理由

本校は、昨年度まで研究主題を「考える、伝え合う力の育成～フレームリーディングを活用した国語科の授業づくり～」として、読みの手法である「フレームリーディング」を用いた国語科の授業づくりに取り組んできた。また、読書活動やNIEにも取り組み、学校図書や新聞を活用した授業づくりや新聞に親しむことができる活動を行っている。昨年度からは、教材文の中で、特に注目したい言葉を設定し、教師がその言葉の意味・働き・使い方を意識しながら授業を組み立てることに全

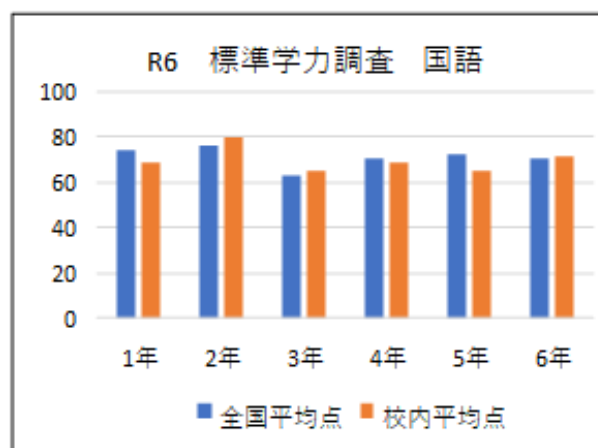


図1

学級で取り組みはじめた。

これらの取組により、昨年度に実施した標準学力調査の国語科では、「読むこと」の項目については、5つの学年が全国平均を上回り、一定の成果が得られた。しかし、国語科の全体の点数で見ると、全国平均を下回っている学年が3学年あった。(図1)

課題を分析すると、読む力は徐々に身についてきているものの、読み取ったことを繋げながら、内容を焦点化して読むことや、語彙や漢字などの基礎学力の定着に課題があることが分かった。授業においては、一人で考えることが難しい児童に対して、他の児童が関わり合いながら学びを深めることが不十分であった。伝え合うための「言葉」の数が少なく、考えを自分の言葉で伝えきれない様子も見られる。さらに、課題意識をもち、粘り強く課題に取り組みきることができない児童もいた。

以上のことから、児童同士が「みんなで分かる、みんなが分かる」よう、関わり合いながら学ぶことで、文章を読んでその内容を理解する力を高めるため、今年度は、研究主題を「読解力を高める授業づくり」、副題を「『言葉』を手がかりにした『伝え合う』授業を通して」と設定した。その基盤として、「豊かな言葉と心を育む」読書活動を推進し、多くの本に出会わせる取組を継続する。授業では、友達と関わり合いながら考え、伝え合う授業づくりに取り組む。また、基礎学力・読解力を高めるために、ドリルタイムを中心に継続的に音読に取り組む。毎時間の授業では、時間いっぱい集中して取り組みきることができるよう、授業の流れを提示すると共に、話す・読む・書くの活動を1時間の授業の中で取り入れるようにする。読み取ったことをもとに児童一人一人が自分の考えを伝え合えるような話し合いの場面を、設定していくことで、主体的に学び合う態度を育てる。

(3) 研究のねらい

「言葉」を手がかりにした授業づくりを行うことを通して、児童が言葉の意味や働き、使い方に着目しながら文章を読み深められるよう読解力を育成する。

(4) 研究仮説

物語文を中心に、「言葉」を手がかりとした「読むこと」の指導や、音読や話し合い活動を充実させることで、学びに向かう児童を育成し、読解力が向上するであろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

①物語文を中心とした「読むこと」の指導の工夫

○文章内の言葉の意味，働き，使い方に着目することで，言葉による見方・考え方を働かせる指導に取り組む

②音読の充実

○ドリルタイムを中心とした，基礎学力・読解力を高めるための音読を実施する

③話し合い活動の場面の設定

○一人一人が考えを聞き合い，伝え合うことで学びを深める。

(6) 検証の指標

①②児童の読解力が向上したか。

(7) 到達目標

検証の指標	目標項目	1 学期	2 学期	3 学期
①	国語科単元末テスト・学期末テスト（思判表の観点）通過率 各学年 80 点以上の児童が 80 % 以上	期待値 80 % 以上	期待値 80 % 以上	期待値 80 % 以上
②	国語科標準学力調査（「読むこと」の領域）通過率 各学年全国平均以上の児童が 80 % 以上			全国平均 80 % 以上

4 指導・助言者

氏 名	所属・職名等	備 考
桑田 晶子様	「ことば」の教育研究会代表	

5 研究計画

月 日	研 究 内 容	講 師
4 月 10 日 (木)	示範授業	桑田晶子先生
4 月 24 日 (木)	授業研究①（5 年生）	桑田晶子先生
5 月 1 日 (木)	教材分析（授業研究②）	研究部

5 月 2 日 (金)	全国学テ採点・分析 (国語・算数・理科)	研究部・6 年
5 月 8 日 (木)	教材分析 (授業研究③)	研究部
5 月 26 日 (月)	授業研究② (4 年生・6 年生)	桑田晶子先生
6 月 3 日 (火)	授業研究③ (1 年生・2 年生)	桑田晶子先生
6 月 26 日 (木)	特別支援学級授業研究① (あおぞら 1 組・あおぞら 4 組)	尾道特別支援学校
7 月 23 日 (水)	1 学期の研修のまとめ 教材分析	研究部
7 月 30 日 (水)	合同研修	
9 月 17 日 (水)	研究会 (10 学級)	桑田晶子先生
11 月 13 日 (木)	授業研究 (専科)	学校長
11 月 20 日 (木)	特別支援学級授業研究② (あおぞら 2 組・あおぞら 3 組)	尾道特別支援学校
12 月 25 日 (木)	2 学期の研修まとめ 教材分析	研究部
1 月 19 日 (月)	授業研究④ (3 年生)	桑田晶子先生
2 月 19 日 (木)	学力テスト分析・取組シート作成	研究部
3 月 5 日 (木)	次年度に向けて	研究部

別紙様式 1

令和 7 年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立美木原学校 校長 石本 美喜

費 目		金 額	明 細
節	細 節		
<u>報 償 費</u>	講師報償費	① 10,800円	①「ことば」の教育研究会 桑田 晶子先生（5月） 2,700円×4時間＝10,800円
		② 10,800円	②同（6月） 2,700円×4時間＝10,800円
		③ 10,800円	③同（9月） 2,700円×4時間＝10,800円
		④ 10,800円	④同（1月） 2,700円×4時間＝10,800円
	報償費小計	43,200円	
<u>旅 費</u>	講師旅費	① 2,620円	①「ことばの教育研究会」 桑田 晶子先生（5月） 行：鵜飼～美木原小学校前（バス） 帰：尾道～鵜飼（JR） 1,740円
		② 2,620円	②同（6月） 1,740円
		③ 2,620円	③同（9月） 1,740円
		④ 2,620円	④同（1月） 1,740円
	視察旅費		
	旅費小計	6,960円	
合 計		50,160円	

※報償費，旅費合わせて7万円以内の予算内で計上してください。